

# 履修方法別紙

(生涯発達科学専攻 2011年度入学者用)

1. 修了に必要な単位は、以下のとおりである。

(1) 必修科目

- ・生涯発達科学基礎論
- ・生涯発達科学演習Ⅰ～Ⅱ
- ・生涯発達科学特論Ⅰ～Ⅲ

以上6科目(6単位)

(2) 選択科目

<キャリア形成関連科目>

- ・生涯発達科学特別演習Ⅰ～Ⅲ(各教員※1)
- ・産業社会心理学特論
- ・組織メンタルヘルス特論
- ・臨床社会心理学特論
- ・職業リハビリテーション特論
- ・キャリア形成特論

<生涯発達支援関連科目>

- ・カウンセリング科学特別演習Ⅰ～Ⅲ(各教員※2)
- ・カウンセリング科学特論
- ・学校生活支援カウンセリング特論
- ・生涯発達心理学特論
- ・障害科学特論
- ・発達支援科学特論
- ・発達支援評価特論
- ・コミュニケーション発達支援特論
- ・生涯発達支援特論

<生涯発達システム関連科目>

- ・リハビリテーション科学特別演習Ⅰ～Ⅲ(各教員※3)
- ・リハビリテーション科学特論
- ・コミュニティ発達援助特論
- ・中高年・障害者発達支援特論
- ・教育支援システム特論
- ・家族発達援助特論
- ・ケアマネジメント特論
- ・生涯発達システム特論

以上29科目の中から4科目(4単位)

各教員※1: 安藤、飯田、大川、大塚、岡田、藤、藤生、松井、

小澤、川間、熊谷、佐島、高橋、八重田、山田のうち、いずれか一人またはグループで担当する。

各教員※2: 安藤、飯田、大川、大塚、岡田、藤、藤生、松井のうち、いずれか一人またはグループで担当する。

各教員※3: 小澤、川間、熊谷、佐島、高橋、八重田、山田のうち、いずれか一人またはグループで担当する。

2. 修了要件は、原則として、

- ・通算3年以上在学する。
- ・必修科目6単位および選択科目から4単位以上を履修する。
- ・本専攻の定める規則にしたがって学位論文を完成し、その審査および最終試験に合格しなければならない。  
合格した者には、「博士（生涯発達科学）」、「博士（カウンセリング科学）」、または「博士（リハビリテーション科学）」の学位いずれかが授与される。

3. 取得学位に係る選択科目の履修方法

- ・博士（生涯発達科学）  
「生涯発達科学特別演習Ⅰ～Ⅲ」の3単位を履修すること。
- ・博士（カウンセリング科学）  
「カウンセリング科学特別演習Ⅰ～Ⅲ」の3単位を履修すること。
- ・博士（リハビリテーション科学）  
「リハビリテーション科学特別演習Ⅰ～Ⅲ」の3単位を履修すること。

4. この履修方法は、2011年度の入学者に適用される。